

第9節 維持・管理

三番瀬は、埋立て等が進み地形や生態系が大きく変化した現在でも、かつての豊かさはありませんが、多様な自然環境が残され、多くの生物が生息しています。

このことから、これらを損なうことなく保全していく必要があるとともに、かつての自然環境の再生に取り組み、次世代に引き継いでいく必要があります。これは自然を相手とする息の長い取組となり、長期的に多くの主体と幅広い世代の参加により進めていくことが重要です。

そのため、多くの個人、団体が参加できる機会を提供し、様々な主体による友好的な協働がなされ、三番瀬をふるさとの海として自ら維持・管理するような仕組みの創出を目指します。

住民、NPO、行政等の協働による清掃活動の様子



(浦安市 (長崎康男氏提供))



(市川市)

(市川市三番瀬クリーンアップ大作戦実行委員会提供)



(船橋市)



(習志野市 (谷津干潟))

(谷津干潟自然観察センター提供)